

2025 新建東京支部総会（次第）

13:30～ 支部総会開会

13:30～

1. 開会あいさつ
2. 議長・書記・選挙管理委員・資格審査委員選出
資格審査の報告

13:40～14:40

3. 2024 年度 活動総括
4. 2024 年度 決算
会計監査報告
5. 2025 年度 方針
6. 2025 年度 予算

2025 年 2 月 16 日（日）
13 時 30 分～17 時

新・新建築家技術者集団 東京支部事務所

新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3F

休憩

14:50～15:50 討議

15:50～16:20

7. 総会議案 採択
8. 2025 年度 幹事・会計監査選出
・ 幹事・会計監査の推薦
・ 信任投票

第 1 回 幹事会（拡大） : 常任幹事・代表幹事の互選

16:20～16:45

9. 新役員等のあいさつ
10. 書記・選挙監理委員・資格審査委員 解任
11. 議長解任
12. 閉会あいさつ

17:00 閉会

出欠届 欠席の方は委任状を
しめきり 2/12(水)まで

メール shinken-tokyo@group.email.ne.jp

FAX 03-3260-9811

メールまたは FAX をお願いします。

I. 情勢

1. 社会情勢

- ・ 2024 年は元旦に能登半島地震が発生し、羽田空港でその救援物資を運ぶ自衛隊機に旅客機が衝突するという衝撃的な航空機事故があり年頭から不安な一年となりました。その後能登地方の復興もままならない中 9 月には追い打ちをかけるように豪雨災害が襲いました。いまだに復興どころか復旧のめどさえたっていない地区が多くあります。応急仮設住宅の建設は遅れに遅れ 12 月 23 日ようやく当初の予定を完成しています。全国に多くある山間地域の老朽化したインフラと、それらの維持管理さらには度重ねてきた市町村合併による統治力の弱体化に大きな課題があることを露呈しました。災害大国日本として国家レベルでの対災害強靱化が早急に求められています。
- ・ 世界情勢では、2022 年 2 月に開始されたロシアによるウクライナ侵攻の終結は見えず、2023 年 10 月に始まったイスラエルによるパレスチナガザ地区への攻撃、2024 年 10 月にはレバノン侵攻と、戦火の絶えない分断と戦争の世界が続いています。そうしたなか「日本原水爆被害者団体協議会」のノーベル平和賞の受賞は社会に一つの明るい希望の光となっています。
- ・ 各国の首相、大統領の改選の年に当たり、ドイツ、イタリア、イギリスなど先進国では与野党の均衡対立が強くなり、各国政治的に不安定な国内情勢となっています。アメリカではトランプ氏の大統領就任が決まり、これからの世界情勢にどのような影響を与えるか、各国が固唾をのんで見守っています。
- ・ 国内的にも、自民党が少数与党となり不安定な政権運用が始まり、国会での議論に国民の関心が強く注がれると共に、野党の体質や政権運営への力量が試されています。
- ・ 世界の温暖化対策では、エネルギー問題への取り組みが急務とされていますが、政府はそれに乗じて原子力発電の再稼働などを掲げ、脱化石燃料、脱原子力という国民の期待とは相反した方向に向かおうとしています。
- ・ 気候変動の影響により農作物の安定的供給に影響が出ています。また、海流の変化、海水温の上昇などにより海産物漁獲量も不安定になっています。その中で漁業就業者は 1988 年から 2018 年の 30 年間に 6%減少し 151,701 人となっていますが、一時減少した 39 才以下の就業者がわずかながら増加していることは一縷の望みです。また農業就労者も 2010 年から 2019 年の間に 55%減少しています。
- ・ 経済的には、日銀が複数回の為替介入を行ったものの歴史的な円安水準は変わらず、株価頼みの経済構造や、ビットコインなど暗号資産の運営がオンライン上で行われ、ますます実質経済への影響が表れています。また世界的企業の統合、運営権の譲渡、アメリカ大統領の交代などにより不安定な状況を見せています。いずれにしても円安ドル高の構造は大きく変わることなく、輸入をベースにした産業の価格高騰、輸出をベースにした産業の売上増という経済構造の転換は、国民の期待に反し変わることがないようです。

- ・公衆衛生の面では、コロナウイルスの流行の沈静化により 5 類に移行しましたが、インフルエンザ、ノロウイルス、マイコプラズマ肺炎、などなどウイルス性感染症が恒常化深刻化しています。また、マイクロプラスチックの海洋汚染が深刻化し、PFAS 汚染という膨大な有機化合物の中から人畜に影響を与える物質の水汚染など、生態系全体への影響が表面化し人々を不安に陥れています。
- ・福祉について
介護保険制度は制度創設以来 24 年が経過し 65 才以上の被保険者数が 2022 年 3 月時点で、1700 万人に増加しサービス利用者数は約 3.5 倍に増加しています。今後さらに増加していく中で介護業界の倒産が過去最悪のペースとなっています。東京商工リサーチによると 2024 年 1 月から 11 月 1 日までに倒産した介護事業者は全国合わせて 144 件ののぼり、2022 年の年間 143 件を上回り、2000 年以降最多となりました。その原因は人手不足と物価高によるもので今後もさらにこの傾向は続くと思われます。
- ・少子化について
日本の少子高齢化は先進国の中でも群を抜いて加速しています。このことは日本経済の沈降を意味しています。労働力不足、長時間労働の深刻化、投資先としての魅力の低下、産業消費水準の低下、地方自治体の行政機能の低下など、深刻な課題は大きくなるばかりです。しかしこの課題は、手っ取り早い解決策はありません。国民一人一人の生活と人生に対する幸福感を作り上げる総体的な施策が必要です。

2. 東京における建築とまちづくりを中心とした情勢

- ・7 月 7 日過去最多の 56 人が立候補した東京都知事選が行われ、小池百合子知事が再選されましたが、選挙妨害、違法ポスターなど選挙制度自体のありかたの問題を残しました。
- ・マンション平均購入価格は 1 億円と言われ、引き続き住宅不動産業界は好調を呈していますが、その購入層は不動産投機や海外機関投資家といわれ、実態は決して良好な状況とは言えません。こうした状況は既存マンションの価格にも影響を与え価格上昇をもたらしており、一般的な人々の住宅取得がますます難しくなっています。
- ・人口減少少子化時代と言われても、渋谷、丸の内、大手町、汐留、豊洲、品川や日本橋、虎ノ門などの都心 3 区を中心として、多くの大規模再開発が多く進行し、神宮外苑では樹木の伐採が始められています。そうした中で中野サンプラザ跡地などの駅前再開発では事業費の高騰などから開発基本計画からの見直しが必要となり大幅な計画変更が避けられない状況となっています。
- ・2022 年 11 月、日本建築学会のワーキンググループは、都市再開発事業での CO2 排出量の推計をおこなうなどして、公開研究会を行っています。そこでは、
 - 1) 大規模な都市再開発は脱炭素型都市再生につながるのか
 - 2) 地球環境危機、人口減少、都市縮退の時代に都心部にこれ以上の建築床は必要なのか
 - 3) このような都市発展に深く関わってきた社会的責任を建築学会はどう果たすか
 - 4) 都市再開発に対しての建築 SDGs 宣言の具体的な行動とは何か、が問われています。しかしこれ以上の動きは、他の建築団体からも出されていません。

(会報建築士 202409 30 ページ)

こうした東京の大規模開発がもたらすヒートアイランド現象などの環境の変化、事態を鑑み「都民のための都民による東京の未来とまちづくり」を提案し、ウオーターフロントから下町、山の手、そして里山山間地までを含め環境に根差した総合的なビジョンが待ち望まれています。

3. 建築を巡る情勢

- ・物価高騰、建築資材の高騰により、建設費が高騰し建築不調がつづいています。そうした中大手ハウスメーカーは高齢者施設や障がい者施設などにも進出し、国内需要を見越した海外進出転換も行われています。一方国内販売を主とするハウスメーカーには業績悪化が噂されている企業もあります。
- ・2025年4月からの住宅建築確認申請の四号建築物見直し（*注）により、省エネ基準適合の義務化、構造系の見直しなどの方針と施行が始まります。

（*注） 四号建築物の見直しについて（「国土交通省国土交通省住宅局参事官名」の説明文は）建築基準法改正（【令和4年6月17日公布】）に伴う、建築確認・検査の対象となる建築物の規模等の見直しであり、木造建築物の従来の審査省略制度（4号特例）を見直し、非木造と同様の規模とすることにしたと説明しています。また、4号特例が縮小される理由として、1）住宅の省エネ化促進のため 2）建物倒壊の危険を軽減するため 4号特例により建築確認が免除されていると、省エネ基準に適合しているかの確認ができず、2050年のカーボンニュートラル実現に支障が出ると解説しているWEBサイトもあります。
- ・省エネ基準では関東圏地域で断熱等級4（Ua値0.8以下）が求められ、2030年には断熱等級5（Ua値0.6（ZEH基準））が標準となるといわれています。そして新たに断熱等級6（Ua値0.46）等級7（Ua値0.24）が創設されました。しかしこれらの数値をクリアする為には建物に外壁付加断熱などが必要となり、実質的運用に疑問が残ります。断熱性能だけではなく、遮熱潜熱放熱など総合的な観点からの省エネ対策が必要です。
- ・そうしたなかますます建築確認申請の業務量が増え、それに見合う申請業務費が得られるかが問題になっています。
- ・建設業界では近年倒産件数の増加傾向が継続し深刻な状況となっています。2023年の倒産件数は1671件となり前年比+38.8%と大幅に増加しました。これは2000年以降で最大の増加率であり、恒常的な人材不足と共に働き方改革関連法の完全施行による影響が大きいと考えられます。環境規制の厳格化も含め、複合的、総合的影響による経営難となっています。
- ・それに輪をかけて建築士も含め建設業界の若手離れが止まりません。こうした状況を改善するには、3Kなど職場環境の悪さ、収入の不安定低収入など雇用条件の悪いイメージや、企業の体力不足などに対して、魅力ある職種とする根本的な改善が必要です。

II. 全体総括と方針

総括—2024年の取り組みの報告

(名前の敬称略-会員外の方のみ敬称あり)

1. 能登半島地震

新建東京支部では、1月1日の地震発生の翌日に、犠牲になられた方々に心から哀悼の意と被災されたみなさまにお見舞い、支援の表明と支援金のお願いをホームページにアップしました。

能登半島地震復興支援本部 先発隊視察・オンライン報告会・第2次視察

新建災害復興支援会議の中に、能登半島地震の支援に機敏に対応できることを目的として、「能登半島地震復興支援本部」を設置し、本部長は石川県に本籍があり、これまでの支援活動の経験から、東京支部代表幹事の丸谷博男がなりました。

先発隊として3月6日（水）～7日（木）、石川支部の杉山真さんに自動車案内をしてもらい、丸谷（東京支部）、新井隆夫（群馬支部）、山下千佳（東京支部）、千代崎一夫（東京支部）で視察をしてきました。

その報告会を3月25日（月）19時～20時30分、オンラインのみで開きました。報告は丸谷が、司会は山下がおこないました。参加者申込者は95人で、会員が38人、会員でない方は57人でした。実際に参加された方は81人まで把握でき、関心が多いことを示しています。

6月4日（火）～5日（水） 新建能登半島地震支援本部の第2次視察に行きました。杉山真（石川）、乾康代（茨城）、西條芳郎（宮城）、新井隆夫（群馬）、久守一敏（京都）、杉山昇・千代崎一夫・丸谷博男・丸山豊・山下千佳（東京）、国土研から紺谷吉弘さんが参加しました。4日の夕食では金沢大学の丸谷耕太さん（丸谷さんの長男）とも交流ができました。

6月30日 夏越しの祓+カミ神楽 チャリティー公演 丸谷博男のつながり
「祓風祈風一はらいかぜ いのりかぜ」
復興支援会議に50,000円（7/9）入金あり 参加：千代崎・山下

2. 秩父宮ラグビー場と神宮球場の現在地での再生提案 発表会

4月10日（水）18時30分～20時30分 東京労働会館7階ラパスホール（豊島区南大塚）にて開催しました。会場参加50名（スタッフ含む会員11名、新建会員外39名）、オンライン参加141名（会員21名、会員外120名）、計191名となりました。

主催は本提案をとりまとめた新建東京支部 東京問題研究会 神宮外苑問題検討チーム

主催者あいさつを事務局長の杉山昇、司会・進行とこの間の取り組み報告を川田綾子、説明「秩父宮ラグビー場について」柳澤泰博・説明「神宮球場について」小林良雄がおこないました。

専門家からの補足発言を岩見良太郎がおこない、まとめと行動提起・閉会あいさつを、千代崎一夫がおこないました。

ハイブリッドでの開催は申込受付段階から当日の設営と運営の段取りなどの準備を重ね、当日はスライド映写・PC操作・ZOOM配信等は五十嵐一博、澤田大樹、山下千佳が、受付等は丸谷博男、石原重治、千代崎一夫で常任幹事が中心になって発表会を無事に終了することができました。

アンケートは、会場18件・フォーム60件（合計78件）と多くの回答をいただきました。

3. アカシアの家 ファンハウス見学会

埼玉県三郷市にある、「アカシアの家ファンハウス」という認知症高齢者共同生活介護施設の見学会を7月19日（金）おこないました。昨年末の支部実践報告会で、とも企画設計の村上久美子か

ら報告いただいたこの施設について、当日の交流会で「実際に皆で見学に行かせてもらおうよ」と話題になったことが、本企画の構想が始まるきっかけでした。

4. 建築とまちづくりセミナーin 那須

8月30日～9月1日に「共生」と「環境」を学ぶ、オールインワン滞在型セミナーとして、那須まちづくり広場を会場にセミナーを開催する予定で、共同開催支部実行委員（群馬支部・埼玉支部）に途中から山下が加わり進めました。8月1日には、現地視察をかねて会場に集まり打ち合わせをしました。部屋割り、参加される方へのお願い、資料集、名札、スタッフの配置、送迎など準備は万全、現地にも荷物を発送して、あとは会場でみなさんをお迎えするだけという状況でした。

参加申込みをされた方は、72名（宮城1 群馬3 埼玉3 千葉2 東京18 神奈川5 富山4 長野1 岐阜1 静岡1 京都11 大阪2 岡山1 福岡3 賛助（福岡）1 会員外15）でした。

オンラインでの講座開催

8月22日に発生した台風10号は、日本の南を北上し、非常に強い勢力にまで発達し、各地に豪雨をもたらし、8月29日に鹿児島県薩摩川内市付近に上陸し、その後は四国や紀伊半島付近へ進むとなり、現地でのリアル開催は中止し、8月31日（土）10時から16時30分に講座のみオンラインでおこないました。

講座はZOOM集計上の名簿での確認は69人で1台のPCで複数の方がいらしたこともあり、70人を超した方の参加があったということになります。もちろん午前のみ午後のみ、1講座だけという方もいますが、オンラインだったので参加ができたという方も複数いらっしゃいました。

5. 神宮外苑再開発 見直し案 JSC公開ヒアリング

9月17日（火）14時～16時、神宮外苑再開発計画見直し案について「JSC（日本スポーツ振興センター）公開ヒアリング」が、参議院議員会館101会議室で開かれました。今回のヒアリングは、9月9日に三井不動産、JSC、明治神宮、伊藤忠商事の4事業者が共同で発表した再開発計画の見直し案を受けて、日本共産党参議院議員 吉良よし子事務所などが主催して、独立行政法人JSC建設部企画調整役の三本氏とJSCを所管するスポーツ庁の担当者を迎えておこなわれました。

新建東京支部からは、岩見良太郎が「公園を対象とした再開発であり、容積率が400%から700%に引き上げられており、公園の健全性が失われる計画だ」と発言、石原重治、小林良雄、千代崎一夫、柳澤泰博、山下千佳が参加しました。

6. 新入会員歓迎会の報告

9月27日（金）18時30分～21時30分 住まい・まちづくりデザインワークスで、今年の春以降に入会された武市望奈代、寺脇智史、笹原和樹、済藤哲仁の歓迎会を開催しました。近年コロナ禍により3年ぐらいは集まることもできず、引き続きオンライン会議も増えていて、飲み会も減っていました。また、新入会員がまとまって入会していただけるという状況がなかったので、ほんとうに楽しい、話が尽きない時間になりました。乾杯は代表幹事の千代崎一夫、閉会あいさつは岡田昭人、他参加者は石原重治、小林良雄、杉山昇、木村美千代、高田桂子、柳澤泰博、山下千佳でした。

7. 公開講座「ドイツ流『まちを創ること』のすすめ」

東京支部では、4月に「秩父宮ラグビー場と神宮球場の現在地での再生提案」の発表会をおこない大きな反響をいただきました。その後、なかなか継続した動きができませんでしたが、秋にバイエルン州建築家協会登録建築家である水島信さんから来日されるという連絡をいただき、ドイツの景観、まちづくりを知る、日本との違いを学ぶ機会をつくりました。板橋の大山ハッピーロードの再開発反対の運動などを一緒に取り組んでいる立教大学文学部教育学科教授の和田悠さんと相談をし、大学と共催の公開講座というスタイルで11月9日（土）14時から17時、立教大学池袋キャンパス10号館の教室で開催することができました。

講演会には46名が参加、終了後のアンケートは22名の方から寄せられました。東京支部からは、石原重治、伊藤寛明、江国智洋、小金山光男、高田桂子、千代崎一夫、柳澤泰博、山下千佳が参加しました。大阪支部から山口達也も参加されました。

8. 第33回全国研究集会 in 奈良

11月30日～12月2日 奈良女子大学で開催されました。天候に恵まれ、紅葉が最高でした。参加者は全体で88名、東京支部からは、石原重治・江國智洋・岡田昭人・木村美千代・佐伯和彦・佐藤未来・杉山昇・高田桂子・武市望奈代・竹山清明・千代崎一夫・丸山豊・柳澤泰博・山下千佳・東京関係では北澤莉多さん 15名の参加でした。分科会の担当者になるなど、奮闘しました。

第1分科会	すまいづくり	岡田・杉山
第2分科会	施設づくり	佐藤・木村
第3分科会	まちづくり	江国・丸山
第4分科会	環境	高田・柳澤
第5分科会	防災・災害復興	山下
第6分科会	職能・仕事づくり	
第7分科会	マンション・団地	佐伯・千代崎

【 事務所移転 】

事務所現在の新建事務所（新宿区水道町2-8 長島ビル2階）には、渋谷区代々木から2006年6月に引っ越してきました。18年が過ぎました。事務所は、大きく下記のように活用されていました。

- ①全国事務所・建築とまちづくり編集委員会・東京支部事務所 それぞれがスペース、机、PCを持ち活用していた。
- ②全国と東京支部でそれぞれの事務局員が、週に2～3日勤務していた。
- ③『建築とまちづくり』誌などの編集作業
- ④全国事務局会議
- ⑤東京支部関連の会議
- ⑥東京支部の企画「三沢塾」「よろず勉強会」の会場や相談会
- ⑦事務局員以外に日中、来られる会員の活動をする場となっていた。
- ⑧『建まち』誌など各種の書籍、セミナーや研究集会、新建賞などの資料や冊子の保管場所

近年、とりわけ2020年のコロナ感染拡大以降、事務所に集まる回数が減り、日中に集まれる会員がいなくなるなど、事務局員が一人で仕事をする時間が圧倒的に多くなりました。また、時代の

変化と共に、インターネットやオンライン会議などが広く浸透し、全国的な会議や編集作業などは、集まっておこなうことがなくなりました。むしろ、会議や学習会を事務所とオンラインで併用して実施する際は、設備やスペースとの関係で使い勝手があまり良くないという状況でした。

現在の事務所は利便性が良く、家賃も広さのわりに安い、移転することは費用とエネルギーがかなり必要ということから、事務所の有効活用について、2年ほど前から検討をしていました。大規模にリニューアルをすることを視野に、昨年は、不要な書類などを処分することもおこないました。また、経費の削減から複数の会員がいる事務所に場所を使わせてもらうことも検討しました。

しかし、思うように片付けや具体的な構想が進まず、コロナ禍が少し落ち着いた時期から、人数を広げた集まりには別の会場を借りることが増えてきました。新建事務所の今後を考えているときに、住まい・まちづくりデザインワークスの移転が決まり、事務所のスペースに空きができ、事務所をシェアすることにしました。

この間、常任幹事会を中心に幹事会や総会での意見交換を元に、特に若い方の意見を重視して最終的には、移転をすることにしました。

事務所移転は動力・資金、どちらも大きいな負担となります。しかし、多くの団体が事務所の縮小や閉鎖を余儀なくされている中で、広い空間のある事務所になったことは、今後の新建活動にとって、良い転機となると思います。大いに活用して、支部活動の拠点にしましょう。

【 組織運営 】

<2024 総括>

常任幹事会を第2火曜日の夜、定例化して開催しました。

幹事会は5月7日、10月8日、2025年1月28日の3回開催しました。毎回、約8割の出席がありました。

全国企画などへの積極的なかわりや参加、ホームページのアップ、ホワイエの定期発行、神宮外苑再開発問題に対する活動などをおこないました。全体としては活発に活動をしたと評価できると思います。主体的に動いている人の偏りはあります。

各専門部としては幹事の担当を決めたものの会議を招集することができませんでした。

<2025 方針>

- ・常任幹事会 各部の部長を中心に構成します。オブサーバー参加を歓迎します。
- ・幹事会 年に3回程度開催

【 会員 】

- ・4名の会員が入会しました。9月27日（金）に歓迎会を開催しました。
- ・全国事務局、東京支部幹事として長年にわたり新建を支えて来られた三浦史郎さん（78歳）が、2月19日に逝去されました。偲ぶ会を6月8日（土）主婦会館プラザエフでおこないました。
- ・千葉在住の大竹博さん（96歳）が11月2日に逝去されました。地域で環境問題などにも取り組み「ホワイエ」「建築とまちづくり」を読んで、感想などを積極的に寄せてくれました。
- ・神宮外苑再開発などで外部運動団体との関係を図るなど、精力的に活動された若山徹さん（77歳）が12月16日逝去されました。
- ・新建会員で構成するNPO法人設計協同フォーラムは、設立30周年を機に12月に「暮らしと住まいの総合研究所」を立ち上げました。研究フォーラムには多くの関心が寄せられています。

【資料】 2024年－2025年

東京支部

- ◎01/09 火 18:30 第 12 回支部幹事会 @新建事務所
- ◎01/26 金 18:30 第 13 回支部幹事会 @新建事務所
- ★02/10 土 13:00 支部総会 @板橋区立下板橋駅前集会所 2 階洋室
- ◎03/12 火 18:30 第 1 回常任幹事会 @新建事務所
- ◎04/09 火 18:30 第 2 回常任幹事会 @新建事務所
- ◎04/10 水 18:30 「秩父宮ラグビー場と神宮球場 現在地での再生提案」発表会@ラパスホール
- ◎04/22 火 18:30 第 3 回常任幹事会 @新建事務所
- ◎05/07 火 18:30 第 1 回幹事会 @新建事務所
- ◎06/08 土 17:00 三浦史郎さんを偲ぶ会 @主婦会館プラザエフ すずらん
- ◎06/11 火 18:30 第 4 回常任幹事会 @ZOOM
- ◎07/09 火 18:30 第 5 回常任幹事会 @新建事務
- ◎07/12 金 18:30 地下に眠る江戸時代の名園「浴恩園」の再生を計る運動の報告 丸谷博男 @ZOOM
- ◎07/19 金 9:30 認知症グループホーム「アカシアの家ファンハウス」見学会(企画部 澤田) @三郷市
- ◎08/06 火 18:30 第 6 回常任幹事会 @住まい・まちづくりデザインワークス
- ◎09/10 火 18:30 第 7 回常任幹事会 @新建事務所
- ◎10/08 火 18:30 第 2 回幹事会 @新建事務所
- ◎11/09 土 14:00 ドイツ流「まちを創ること」のすすめ 講師：水島信氏@立教大学池袋キャンパス
- ◎11/12 火 13:00 事務所片付け @新建事務所
- ◎11/12 火 16:15 第 8 回常任幹事会 @住まい・まちづくりデザインワークス
- ◎12/10 火 18:30 第 9 回常任幹事会 @住まい・まちづくりデザインワークス
- ◎01/07 火 18:00 第 10 回常任幹事会 @かたちづくり研究所
- ◎01/14 火 18:00 第 11 回常任幹事会 @かたちづくり研究所
- ◎01/28 火 18:30 第 3 回幹事会 @かたちづくり研究所
- ★02/16 日 13:30 支部総会 @新・新建事務所

全 国

- ◎01/08 月 13:30 新建災害復興支援会議コアメンバー打つ合わせ @新建事務所
- ◎01/15 月 19:00 " 緊急 メンバー会議 @ZOOM
- ◎02/19 月 17:00 能登半島地震復興支援本部 打ち合わせ @ZOOM
- ◎03/18 月 19:00 「環境と建築」－地球環境の危機－金田正夫さん @ZOOM
- ◎04/20 土 10:00 全国幹事会 @ZOOM
- ◎06/04 火-05 水 能登半島復興支援本部 第 2 次視察
- ◎06/29 土 18:15 建築家竹原義二講演会 新建大阪支部主催 @大阪市中心公会堂
- ◎07/01 月 19:00 「縮退」社会での建築とまちづくり懇談会 政策委員会+編集委員会 @ZOOM
- ◎07/06 土 19:00 新建学校 2024in 福岡(講師:小林良雄) @アクロス福岡セミナー室+ZOOM
- ◎08/30 金-09/01 日 建まちセミナー @那須まちづくり広場 (栃木)
- ◎09/14 土 10:00 全国幹事会 @ZOOM
- ◎11/30 土-12/2 月 第 33 回全国研究集会 @奈良女子大学